

経済指標レポート 第237号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel: 06 - 6441 - 0102 Fax: 06 - 6441 - 0443

関西への観光客の動向に関する最新の調査が発表されている。

大阪市が今月19日にまとめた「平成18年度大阪市の観光動向調査」によると、昨年度に大阪市を訪れた観光客数は1億405万人と前年比3.1%の増加となり、過去最高を記録した。

外国人観光客についても、前年比10.9%増の153万人となり、過去最高を記録している。関西国際空港経由の入国者数を見ると、韓国が前年比13.8%、中国が18.8%、香港が29.1%それぞれ増加しており、外国人観光客の中でアジア地域からの観光客が占める割合が年々増加してきている。

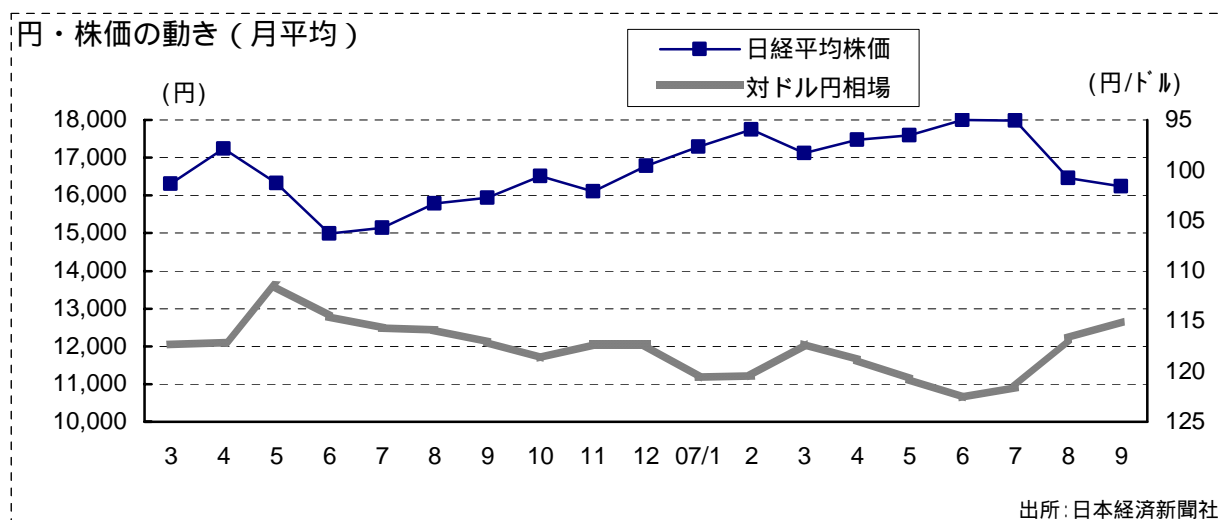
一方で、まちの安全や安心感、観光施設周辺や街の美化・景観、観光案内の表示やサインの設置場所や見やすさについてはさらなる努力が必要、との今後の課題が提示された。

また、兵庫県がまとめた「平成18年度観光客動態調査」も22日に発表され、兵庫県を訪れた観光客数は、神戸空港の開港や国体の開催が寄与し、1億3327万人とこちらも過去最高を記録した。

さらに、京都市では本年7月に「平成18年京都市観光調査」結果を発表している。全国的な「京都ブーム」を背景に多彩な観光振興施策を推進した結果、入洛観光客数は6年連続過去最高の4,839万人となっている。

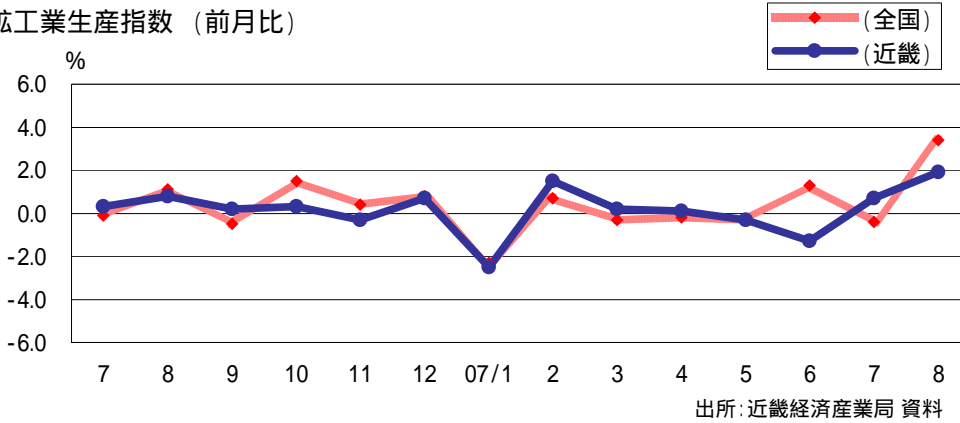
今後、好調な観光客の動向にさらに強みを持たせるためには、京阪神をはじめ、関西の各都市が持つ異なった個性をバラエティに富んだ“ひとつの地域”として見せていくことが必要である。

各指標の動き



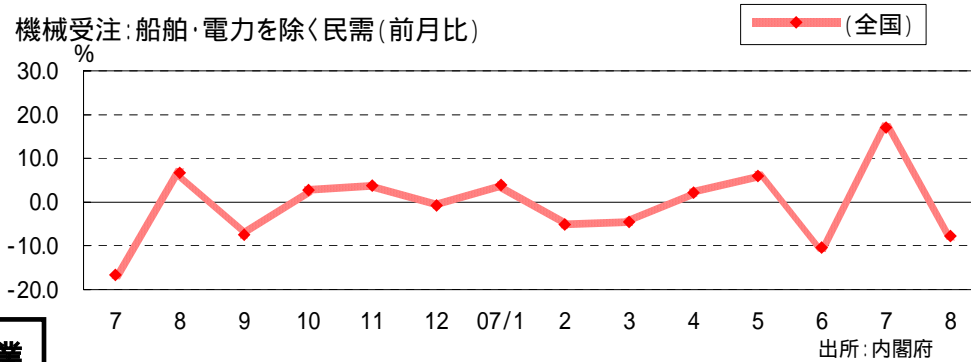
生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 1.9% 増と 2 ヶ月連続で上昇。情報通信機械工業、電気機械工業、金属製品工業、化学工業（医薬品除く）などが上昇に寄与している。

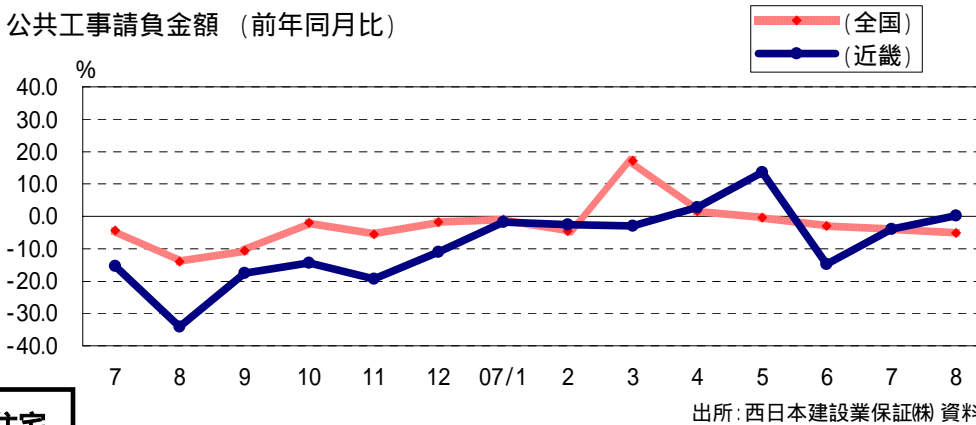
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 7.7% 減となった。業種別の受注は製造業が同 8.6% 減、非製造業（船舶・電力を除く）が同 7.6% 減となった。

公共事業

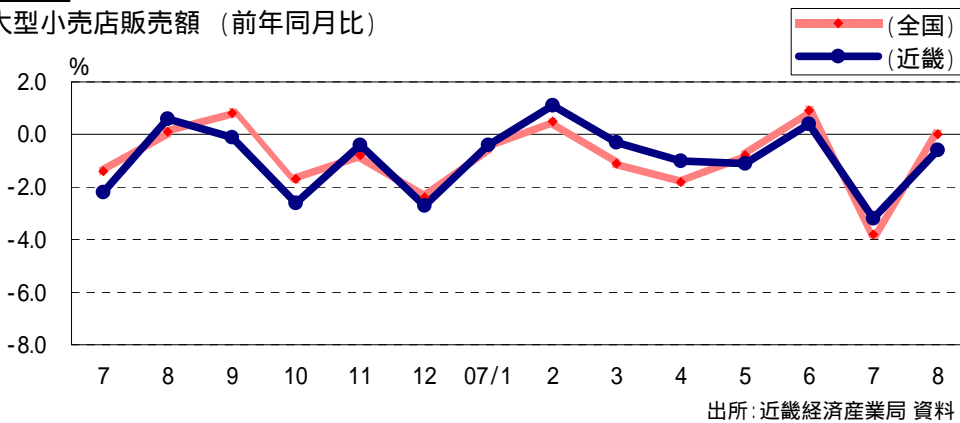
公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 0.2% 増。理化学研究所大型工事、近畿地方整備局の大型工事（神戸港ポートアイランド 2 期地区岸壁築造工事）などが寄与。

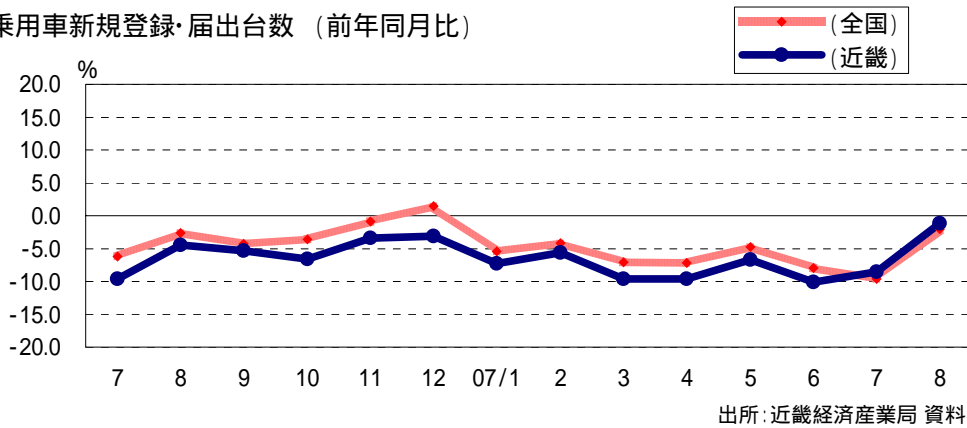
消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



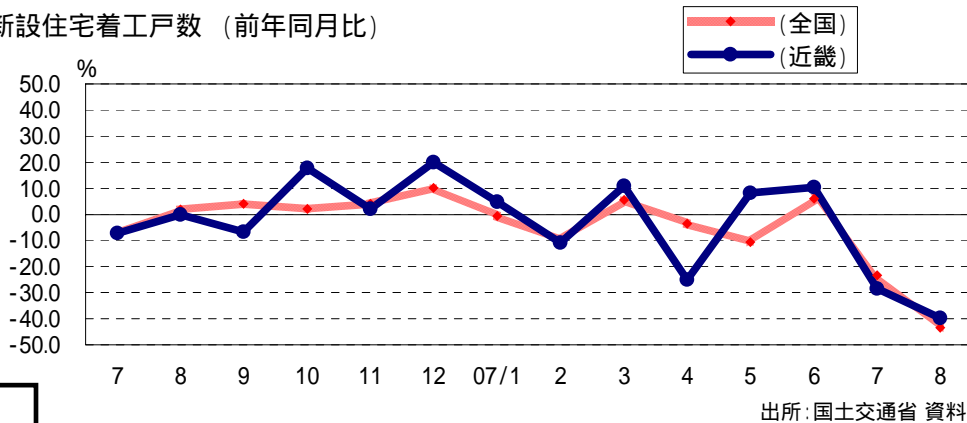
近畿は既存店ベースで前年同月比 0.6% 減と 2 ヶ月連続のマイナス。8 月は中旬以降に猛暑となり、夏物は好調だったが主力となる秋物衣料品などの売れ行きが伸びず。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比1.2%減と17ヶ月連続で前年を下回った。普通車が2ヶ月連続で前年を上回ったものの、小型車が17ヶ月連続、軽四車が5ヶ月連続で前年を下回った。

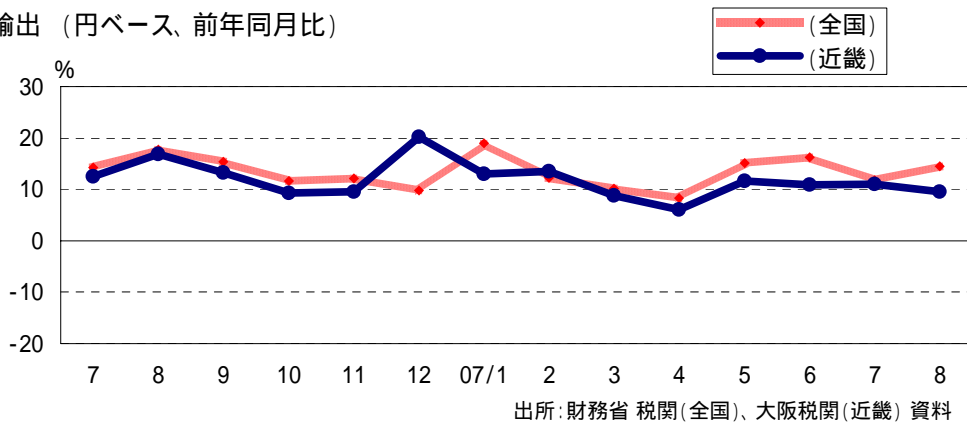
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比39.7%減となり2ヶ月連続で前年を下回った。改正建築基準法の施行による影響が大きい。

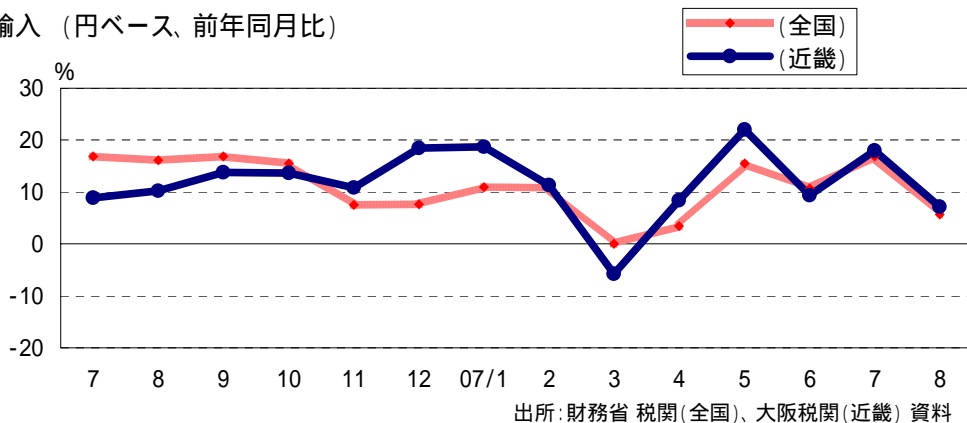
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比9.5%増で65ヶ月連続のプラスとなった。主にアメリカ、台湾向けが増加した半導体等電子部品が過去最高額を記録。

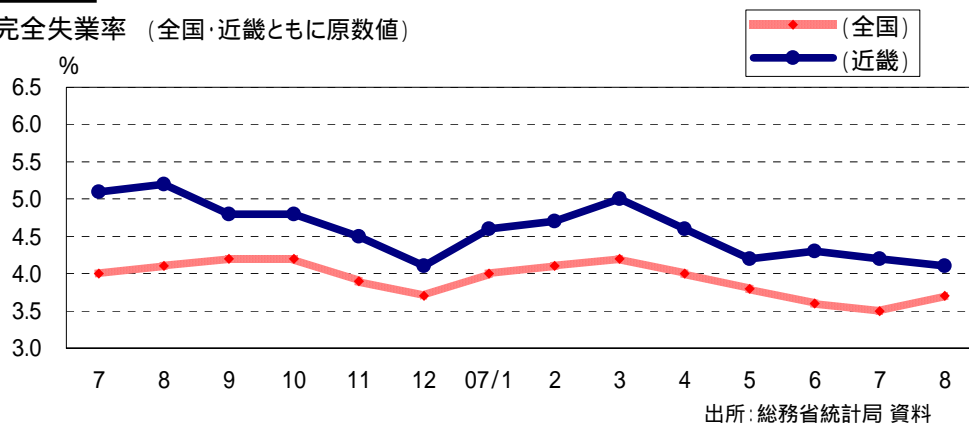
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比7.2%増となり、5ヶ月連続でプラスとなった。主にオーストラリアからのニッケルマット(粗鋼の原料)の輸入が増加した非鉄金属鉍が過去最高額を記録。

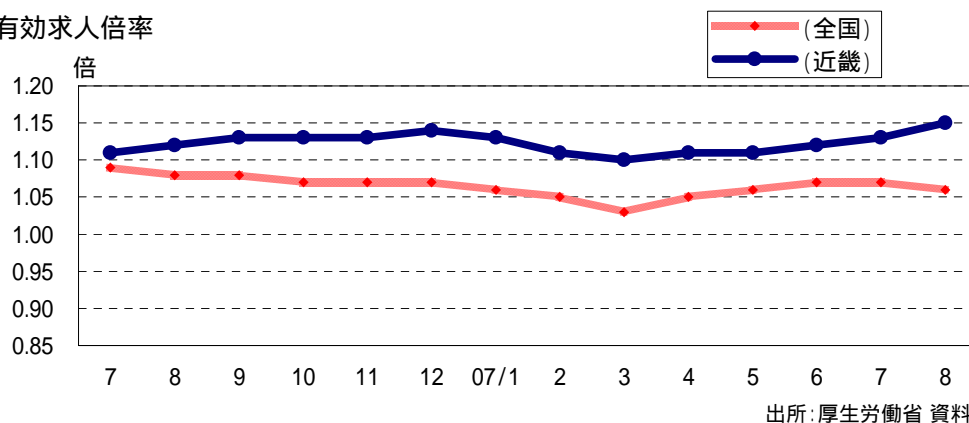
雇用・倒産

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



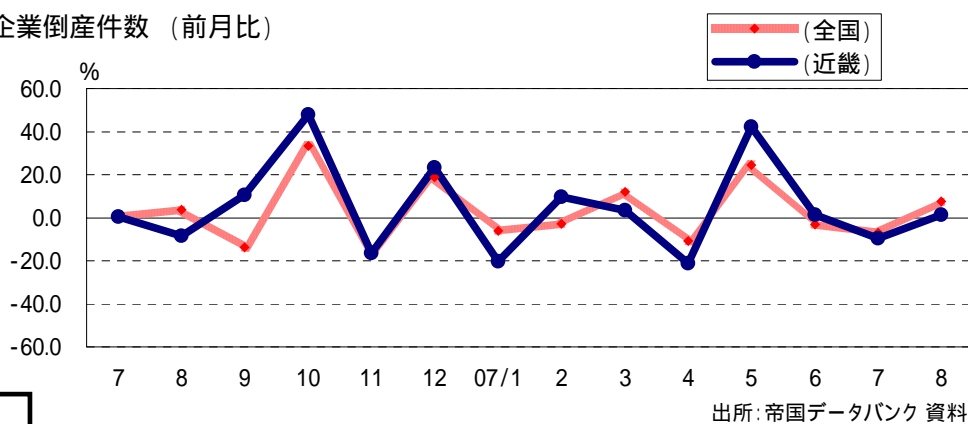
近畿の完全失業率は4.1%で、12ヶ月連続で前年を下回った。全国は3.7%となり、前月の3.5%より増加している。

有効求人倍率



近畿は前月から上昇し、1.15倍となった。引き続き全国（1.06倍）を上回る数値で推移し、改善が続いている。

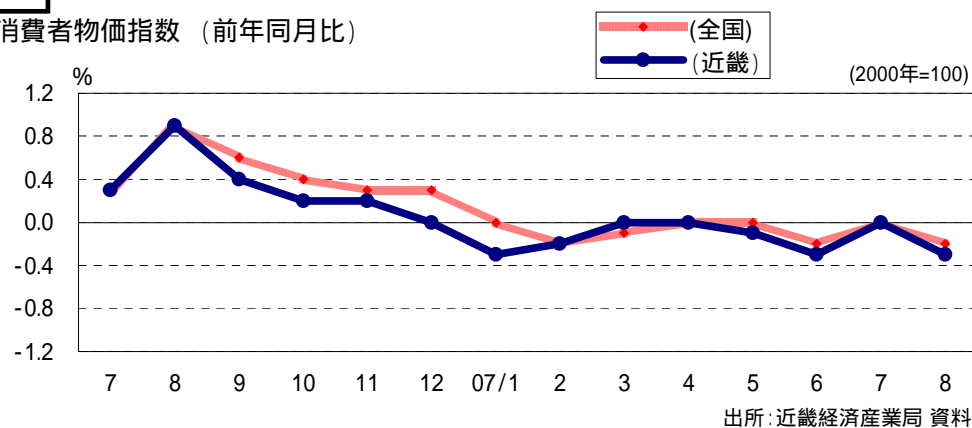
企業倒産件数（前月比）



近畿の倒産件数は前月比1.2%増。大型倒産は減少しているものの小規模零細企業の倒産が頻発している。

物価

消費者物価指数（前年同月比）



近畿は100.4で前年同月比0.3%減。家具・家事用品、教養娯楽、食料、交通・通信、住居の指数が低下。